

2019年度 環境行動計画表

(制定:2019年4月1日)

結城運輸倉庫株式会社

項目(大項目)	2018年度の活動評価	2019年度の実施計画(達成目標)	行動項目	達成時期	責任者	取組評価
環境保全の為の仕組み・体制の整備	2018年度環境行動は環境教育を主体に、実施計画通り行い、環境行動の意義・必要性の理解を深めた。 ・グリーン経営認証更新審査・定期審査完了。 ・グリーンエコプロジェクト 全拠点で活動継続。 ・東京都貨物輸送評価制度 ☆☆☆取得(5年連続評価最優秀事業者認定)	・全乗務員対象。年4回、環境教育を実施。該当月の安全衛生会議にて、全社統一の資料を用い行う。 ・清水営業所グリーン経営認証取得。	・教育内容 ①「グリーン・エコプロジェクト」活動。 ②車輛の点検整備について。 ③4R(Refuse,Reduce,Reuse,Recycle)の実践。 ④環境法規制。	5月「グリーン・エコプロジェクト」 7月 車両点検・整備 9月 4Rの実践 1月 環境法規制	環境保全推進責任者 環境保全管理責任者(所長)	
	3月9日 経営方針説明会にて、管理職・本部担当へ環境行動計画を説明した。 公共の福祉に資する企業として、廃棄物の正しい処理を100%行うことを課題とし、全拠点規定通り正しい処理の実施を確認した。	・3月8日 経営方針説明会にて、2019年度環境行動計画を説明する。 ・『産業廃棄物の取り扱い注意点』説明を行う。	・環境方針 ・環境行動計画 ・グリーン経営更新 ・『東京都貨物輸送評価制度』申請。	3月8日 経営方針説明会		
	グループ長定例会議において『CSR環境活動』『環境行動計画』『CO2排出量』『チリも積もれば山』を講義。グループミーティングを通じて知識の共有を図った。 関東・静岡管轄 4/25、11/20 仙台管轄 4/19、10/30 合計26名参加。	Gr長定例会議、新入社員集合教育、にて環境教育を行う。	教育内容 ・CSR環境活動 ・環境行動計画 ・燃費向上のスキル ・その他『チリも積もれば』	グループ長定例会議開催時期 上期 4月 下期 10月		
エコドライブの実施(最重要実施項目)	・7月 東京都貨物輸送評価制度『☆☆☆』取得。(評価ステッカー全車貼り付け) ・2018年度燃費目標 全社平均3.57Km/L 全社平均燃費実績 3.52Km/L(2019年1月末) ※2017年度実績 3.54Km/L ・交通エコロジー・モビリティ財団『エコドライブ活動コンクール』は受賞を逃した。	・東京都貨物輸送評価制度☆☆☆獲得 ・グリーン・エコプロジェクト活動継続(走行管理表で一日の運転業務の振り返り) 2019年度目標燃費 3.55Km/L ・『エコドライブ活動コンクール』受賞。	・2019年度目標燃費達成 ・走行管理表を、運転業務振り返りの材料にする。 ・環境教育内容「グリーン・エコプロジェクト」 ・エコドライブ活動コンクール申請	3月まで継続して実施。	環境保全管理責任者(所長) エコドライブ責任者	
	2018年度燃費目標は未達であり、平均燃費は0.02ポイント悪化した。しかし東京都の評価に見られるように、高いレベルで推移している。	『目標燃費3.55Km/L』を達成。 ※2018年度の全社平均燃費に1%を掛けた値	エコドライブ活動の積極的推進により、燃費の向上、燃料費抑制、無駄の排除による省資源化に努める。			
低公害車の導入	2018年度 8台のポスト新長期規制車導入。『低燃費かつ低排出ガス認定』車両は保有台数217台中49台となり、その割合は前年度19.6%⇒22.5%となった。(2月16日時点)	継続してポスト新長期規制車を積極導入する	2019年度車輛計画に拠る。	2019年度	経営企画部長	
自動車の点検・整備	・各営業所、車両点検予定を一覧表で管理。車検・3ヶ月点検期限、点検入庫予定日を記入し計画的に管理している。点検後完了日を記入し点検漏れを防ぐ体制を整えている。 ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアエレメントも、基準の交換時期を過ぎてしまうことの無いよう工夫して管理し、基準を達成出来た。	・点検整備基準表に沿った車両点検・整備。 ・基準計画通りに車両点検・整備が行われているか、内部監査時チェックする。	・月次車両自主点検励行。(黒煙濃度、エアコン効き方、タイヤ空気圧) ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアエレメント交換が適正な時期に行われているかをチェックする。 ・DPF,尿素SCR点検を確実にし、運行中の不具合防止につなげる。※法定点検項目に含まれない。点検表備考欄に記載を依頼する。	点検整備:日常点検、月次点検、点検整備管理表	環境保全推進責任者 環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者 内部監査員	
	7月度安全衛生会議にて『タイヤと空気圧』について教育を実施。タイヤの空気圧と燃費の関係を学んだ。	安全衛生会議にて、車両点検・整備の教育を行う。	教育内容 具体的な車両点検・整備の方法、注意点について。	環境教育:7月 車両点検・整備		
廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進	・廃バッテリー、LLC廃液 等産業廃棄物の適正処理を確認済み。 ・再生タイヤ購入比率 2017年度 1431本中417本 29.1% 2018年度 1404本中294本 20.9%	・マニフェスト伝票管理。 ・内部監査時廃棄物処理状況を確認。 ・廃バッテリー、LLC廃液について、適正処理を行っているか確認する。 ・再生タイヤ導入を継続する。 ・全乗務員対象。安全衛生会議にて、リサイクル推進の教育を行う。	・廃タイヤ、廃バッテリー、LLC廃液処理に係るマニフェストや引き取り伝票の整理、引き取り業者が証明出来る書類を整理する。 ・安全衛生会議にて『4R』について教育を行う。	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:9月 4Rの実践	環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者	
管理部門(事務所)における環境保全の推進	各営業所環境保全活動項目②③④⑤を積極的に行っている。	・事務所における環境保全活動推進。 ・安全衛生会議にて環境法規制について教育を行う。	・環境保全活動項目 ①グリーン購入 ②不必要な照明の消灯 ③空調機器を適正温度に設定 ④コピー用紙等の紙使用量の削減 ⑤分別回収ボックスを設置し、分別回収に努める ⑥使い捨て製品の購入を控える	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:1月 環境法規制	環境保全管理責任者(所長)	

グリーン経営/交通エコモ財団

※更新審査 秋田営業所、酒田営業所、仙台営業所、小名浜営業所、郡山営業所、
※定期審査 栃木営業所、群馬営業所、静岡営業所、藤枝営業所、王子営業所、潮見営業所、五井営業所、鹿島営業所

※達成時期において取組の検証を行い、その結果を○、△、×で取組評価に記載する
(○:実行している、△:ある程度実行している、×:あまり実行できていない)
※この計画表は、本社安全管理部(環境保全推進体制事務局)にて作成し、全社統一のものとする。